



概要

氏名 宮田 寛

住所 八代市妙見町2156

主な活動地 八代市

宮田 寛
みやた ひろし

地域文化活動部門

宮田寛氏は、八代市に江戸時代から伝わる「宮地手漉和紙」の歴史と伝統技術を受け継いでいる県内唯一の職人です。この和紙は装飾紙から障子紙などの日用紙まで幅広く作られ、加藤家、細川家、松井家では御用紙として重宝されました。以前は宮地地区に百軒以上の紙漉きがありましたが、現在は一軒だけとなっています。

昭和五十四年に熊本県伝統的工芸品指定者に認定され、平成二年から八代市立第八中学校、平成十四年からは宮地小学校の子どもたちに卒業証書作りを指導しています。これまで指導した児童・生徒の数は中学校で千八十人、小学校で三百三十三人にもなっています。

約三十年前からは八代特産のイグサを漉きこんだ和紙の製造を行うとともに、平成十一年に開催された「くまもと未来国体」では表彰状に宮地手漉き和紙が用いられ、入賞者に喜んでいただくなど、熊本県の伝統的な紙工品として県外に発信しました。

宮地手漉和紙の伝統の灯を約六十年間にわたりに筋に守り、地元のみならず県内各地に出向き、体験を通じて日本伝統の和紙の良さを伝えるなど、地域の文化振興に大きく貢献しています。

これまででの活動歴

昭和二十六年 十六歳の時に製作を始める
 昭和五十一年 熊本県ふるさと顕彰受賞
 昭和五十四年 熊本県伝統的工芸品指定者に認定される

平成二年、八代市立第八中学校の生徒に卒業証書作りを指導
 平成十一年 くまもと未来国体の表彰状に宮地手漉き和紙が用いられる

平成十四年、八代市立宮地小学校の児童に卒業証書作りを指導

平成十五年 八代東ロータリークラブ

職業奉仕賞受賞

※手漉き和紙の研究に尽力し、県内外との文化交流の功績に対して表彰された